



注意点

- ◎用水にガードレールの無い箇所多数あり
- ◎木曾川があふれた時は逃げ場がない

2018年8月  
五之三地区防災会



今後の課題

- 【私たちの課題・心構え】
- ・区内事業者と一時避難場所の交渉
  - ・一時避難場所の企業と、日頃からの連携が必要ではないか。
  - ・一時避難場所の収容人数に不安。
- 【行政との話し合い必要】
- ・防災無線が聞き取りにくい
  - ・排水柵、ガードレール等の改善を要望する箇所あり
  - ・地区内に避難所の増設

1 鉄板段差あり危険



2 排水柵があふれやすい



- 凡例
- 一時避難場所
  - 水が早めに浸かりやすい場所
  - 水が流れ込む方向
  - 雨水マンホール
  - フタの開いた側溝
  - 避難路
  - 標高(メートル)
  - その他危険箇所
  - 田んぼとの段差転落危険
  - 愛西市との境界(赤)
  - 弥富市内町境界(黄)

柵がないため転落の危険あり

3 柵途中で危険



4



5 段差柵無く危険



6 段差柵無く危険



コンテナや看板等の固定が甘い箇所あり危険

多雨で用水路よくあふれる

側溝のフタ破損

段差あり危険

木曾川のはんらん時  
最大想定浸水深

水田の浸水深	3~5m
住宅地の浸水深	1~3m

7 鉄板段差あり危険



8 一時避難場所



9 側溝フタ無し危険

